

## 1 研究題目

ベルイシグアトレジストリー多施設共同前向き観察研究

## 2 研究の対象

標準的な心不全治療を受けている左室駆出率の低下した心不全患者

## 3 研究目的

ベルイシグアト治療前後の心不全症状及び、血行動態指標の変化を評価することにより、ベルイシグアトの有効性を示す心不全の特徴を明らかにする。

本研究は岡山大学主幹の多施設共同、前向き観察研究である。左室収縮率の低下した心不全に対してベルイシグアトを投与させる患者を対象として、治療前後の心不全症状及び血行動態指標の変化を評価する。

## 4 研究期間

研究倫理委員会承認後 ～ 2025年3月31日

## 5 研究に用いる試料・情報の種類

患者基本情報(年齢、性別、身長、体重、基礎疾患名、心不全病型、不整脈の有無及び種類、CIEDの有無・種類、既往症・合併症)、理学所見、血液検査情報、尿検査情報、12誘導心電図、心エコー、血漿NTproBNP濃度、高感度トロポニンT、NYHA心機能分類、心不全QOLアンケート、転帰、服薬情報、併用薬情報、有害事象

## 6 研究責任者

医師 小林 博夫